

事業区分
金銭給付

平成27年度 事務事業評価シート

事務事業名	重度身体障害者グループホーム運営助成				所管	福祉部		
						障害福祉課		
事務事業の概要	事業の開始・終了年度		[事業開始] 平成 1 4 年度	[終了予定]	- 年度			
	根拠法令等	要綱	[法令等名]	台東区重度身体障害者グループホーム事業助成要綱				
	事業対象	直接の対象:NPO法人りんご村が運営する重度身体障害者グループホーム「アポロ」、最終的な対象:重度身体障害者						
	事業目的	重度身体障害者の地域居住を推進するために、居室の提供や日常生活の支援を行うグループホームに対して運営費を助成することにより、重度身体障害者の地域における自立生活の場を確保することを目的とする。						
	事業内容	重度身体障害者グループホーム「アポロ」を運営するNPO法人りんご村に運営費を助成することにより、安定した施設運営を図り、重度身体障害者の地域における自立生活の場を確保する。 【平成26年度助成実績額:14,733千円】						
	委託の有無	なし	委託内容					
	補助金の有無	なし						
事務事業の実績	種別	指標の名称	(単位)	目標値 (29年度)	24年度	25年度	26年度	
	活動指標	助成件数	件	1	1	1	1	
		成果指標	利用者数	人	4	4	4	4
	決算額 (単位:千円)				14,733	14,733	14,733	
	事務事業コスト (単位:千円)	人にかかるコスト(人件費など)			833	852	850	
		物にかかるコスト(物件費・維持補修費)			0	0	0	
		その他のコスト(扶助費・補助費など)			14,733	14,733	14,733	
		総経費			15,566	15,585	15,583	
	財源項目 (単位:千円)	受益者負担額(使用料・手数料・負担金など)			0	0	0	
		その他特定財源(国や都の支出金・財産収入など)			0	0	0	
一般財源(区負担額)			15,566	15,585	15,583			
前回評価から改善した事項	なし							
評価の視点	評価	評価の理由						
	必要性	3	重度身体障害者の地域における自立生活を支える基本的な場として大きな役割を果たしており、先駆的事业として実施した経緯がある。また、区民ニーズに応えるためにも施設を運営することが必要である。					
	効率性	3	本事業による補助対象経費は人件費が大半を占め、コストや効率性に大きな変化はない。					
	手段の適切性	3	施設の安定的な事業運営が可能となり、重度身体障害者の地域における自立生活の場が確保されている。					
目的達成度	4	利用率も100%を維持しており、重度身体障害者の自立生活の場が継続的に確保されている。						
[評価の理由](区民生活への影響を十分考慮すること)				評価結果	今後の方向性			
現在、重度身体障害者の地域における自立生活の場としてのグループホームは、本事業(4床)の他、フロム千束(11床(体験型2床を含む))が整備されているが、必要性が高く、今後とも事業規模を維持する。					維持			
				拡大 改善 維持 縮小 廃止・終了				